



第 24 回 ロータリー月例報告書

2022 年 7 月

本州の気温の高さをニュースで見て東海岸は大丈夫だと高を括っていましたが、遂に夏本番が始まり暑くなって来ました。第 24 回目の月例報告書では 2022 年 7 月から 8 月までの生活状況をご紹介します。

今月の初めは引越しに骨が折れました。今回で 3 回目の引越しですが、毎回アパートを変える度に家具を譲り受けるので今回はそれらが特に多くて運び出すのに大変苦労しました。移動には引越し業者のトラックを一台半日レンタルしました。受付は適当で、日本の運転免許証で普通に運転してもいいよとされました。当日は友達 2 人を呼んで午前中から作業し始め、お昼休憩にはタピオカミルクティーを買ってトラックの中で休憩し、なんとか一日で終わることができました。2 人にはお礼として街の良いワインバーで早めの夜ご飯ということで打ち上げをしました。少し酔いもありクタクタになって新しいアパートのリビングで椅子に座って休んでいると、黒い小さな塊がささっと床の上を走ったような気がしました。朝から力作業をして疲れすぎて頭がおかしくなったかと思うほど疑いましたが、2 度目の遭遇で確認し初日に小ネズミが出ました。アパートは日本人の先輩が住んでいたため基本的な状態と質は保たれているものと思っていたのでこれにはショックでした。きっと引越しの際にどこかの隙で紛れ込んだのかもしれませんが、7 月中は仮契約としており、本契約は 8 月から始まるため荷物はあまり広げずに最小限で生活しています。本来はマットレスを床に置いて使用する予定でしたが、ちゃんとフレームを組み立てて位置を高くせざるを得ませんでした。契約で厄介なのは、8/1 から本契約が始まる 8/15 までアパートを空っぽにしなければいけません。これについては何度もしつこく運営会社に問い合わせましたが、部屋の修理や点検のためにどうしても 15 日間空けなければならないようです。引越しには大量の家具を持ってきていたので、短期の倉庫を見つける必要がありましたが、運良く同じ階に住んでいる日本人の先輩にお願いしたところ丁度その期間は帰国しているということで、快く家具を先輩の部屋に置いていいことになり首の皮一枚繋がりました。この修理点検期間のうちに部屋のアップグレードをお願いすると丁寧な返事が来たので少し期待しています。新しいアパートはダウンタウンに位置しているため、特に金曜土曜は目の前のアパートから音楽が夜中まで聞こえてきて相当な騒音になっています。どうやら学部生がパーティー用にアパートを 2 件借りているらしく、夜遅くまで音が聞こえるときは大学と市の警察を呼んでいます。しかし通学路には大学本部があり休日にはカフェが近くにあるので立地には満足しています。写真は同じ研究室の博士学生の公聴卒業発表会の様子です。この友達は以前の短期留学からの付き合いで、いつもその聡明さにとても刺激を受けていました。せっかく戻って来たというのに、ついに卒業ということで寂しくなります。彼は 9 月からボストンにある MIT にてポスドクとして研究を続ける予定です。

末筆になりますが、いつも国際ロータリー財団様の多大なご支援を有難うございます。引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

